

科目	看護学概論				
時間数	1単位 30時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	③和田智恵子				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	看護全般の概念を捉え、看護の対象である人間を理解すると共に、保健医療福祉のチームにおける看護の位置づけや、さらに現代社会の中で専門職として果たすべき役割の重要性について学ぶ。				
目標	1. 看護の理念とその構成要素を学び、特に専門職として守るべき倫理の重要性を理解する。 2. ヘンダーソンの基本的看護をもとに、看護の機能と役割、臨床現場で求められる新しい看護のあり方を学ぶ。 3. 看護学生としての自覚を促し、自己の未来への展望を持つことが出来る。				
授業計画					
回	項目	内容			
1～5	2. 看護とは何か (1) 看護の原点 (2) 看護の理念 (3) 看護の理念の構成要素と合意の構成				
6～10	3. 看護の対象としての人間 (1) 人間の欲求と種類 (2) 健康のとらえ方 (3) 国民の全体像をつかむ (4) 一般の人々の健康関連行動 (5) 現代の家族とライフサイクル				
11～13	4. 看護の提供者 (1) 職業としての看護 (2) 看護職の要請制度と就業状況 (3) 看護職の教育とキャリア開発 (4) 看護職者の養成制度の課題 (5) 看護職者の倫理				
14～15	5. 広がる看護の活動領域 (1) 看護の国際協力 (2) 災害時における看護				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 筆記試験 70%、授業・グループワーク参加状況 10%、発表参加状況 10%、課題提出状況 10%を総合して評価する。 60点以上を及第点とする。				
教科書	基礎看護学①看護学概論:医学書院 基礎看護学④臨床看護総論:医学書院				